

2019年度福島大学教員免許状更新講習講習一覧

※全講習、講習料：6,000円になります。

※同一講習名の講習は、重複して受講できません。（H30年度受講した場合も同様です）

【必修領域】すべての受講者が受講する領域

2019年3月14日現在

職種	講習番号 (システム コード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の持ち物 (事前購入デ キスト)	講習の 開講形態	試験の方法	試験時の 持込	その他 (事前におい てほしい事項、 参考テキスト等)
全教員	1-A (1909 R001)	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 富永 美佐子(人間発達文化学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年6月16日(日)	300人	・受講票 ・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
全教員	1-B (1909 R002)	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 富永 美佐子(人間発達文化学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年8月24日(土)	300人	・受講票 ・筆記用具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
全教員	1-C (1909 R003)	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 高谷 理恵子(人間発達文化学類教授)	福島県いわき市	6時間	2019年6月29日(土)	170人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
全教員	1-D (1909 R004)	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 木暮 照正(地域創造支援センター教授)	福島県郡山市	6時間	2019年8月9日(金)	300人	・受講票 ・筆記用具	講義・ペア討議	筆記試験	可	特になし
全教員	1-E (1909 R005)	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 住吉 子力(人間発達文化学類教授)	福島県会津若松市	6時間	2019年7月20日(土)	160人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし

職種	講習番号 (システム コード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の持ち物 (事前購入テ キスト)	講習の 開講形態	試験の方法	試験時の 持込	その他 (事前に知ってお いてほしい事項、 参考テキスト等)
全教員	1-F (1909 R006)	【必修】教育・子ども を巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識(心のバリアフリー等について)などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター 准教授)・ 飛田 操(人間発達文化学類教授)	福島県福島 市	6時間	2019年9月8日(日)	300人	・受講票 ・筆記用具	講義・ペア 討議	筆記試験	可	特になし

【選択必修領域】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類または教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

主な受講対象者			講習番号 (システム コード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の 持ち物 (事前購入 テキスト)	講習の 開講形態	試験の方 法	試験時 の持込	その他 (事前に知って おいてほしい事項、 参考テキスト等)
学校種	免許職 種、 教科等	職務経 験等													
小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-A (1909 MOO1)	【選択必修】学習指導 要領・教育政策	学習指導要領の改訂の動向に関し、歴史的な経緯を振り返りながら解説する。そして、最近のカリキュラム改革やその周辺をめぐる議論について理解を深める。また、学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。	坂本 篤史（人間発達文化学類准教授） 阿内 春生（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月25日(日)	200人	・受講票 ・筆記用具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-B (1909 MOO2)	【選択必修】教育政 策・危機管理	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。 また、学校の教育活動全般における危機管理上の課題を捉え、安全確保にかかわる今日的な状況と危機管理の在り方について、自校の実態をもとに省察し、新たな視点を学ぶ。	阿内 春生（人間発達文化学類准教授） 佐藤 和彦（総合教育研究センター 特任教授）	福島県郡山市	6時間	2019年8月8日(木)	150人	・受講票 ・筆記用具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-C (1909 MOO3)	【選択必修】教育政 策・組織的対応	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。 また、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	阿内 春生（人間発達文化学類准教授） 佐藤 和彦（総合教育研究センター 特任教授）	福島県いわき 市	6時間	2019年6月30日(日)	170人	・受講票 ・筆記用具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-D (1909 MOO4)	【選択必修】学校を巡 る変化・組織的対応	学校を巡る近年の状況の変化について考察を行う。PISAなど学力の国際比較に見られる傾向を糸口に、児童・生徒の学習意欲の問題、保護者の意識の変化、社会の学校観などを扱う。子どもの貧困の問題についても扱う。 また、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	谷 雅泰（人間発達文化学類教授） 佐藤 和彦（総合教育研究センター 特任教授）	福島県会津若 松市	6時間	2019年7月21日(日)	160人	・受講票 ・筆記用具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし
小学校 中学校	特定し ない	特定し ない	2-E (1909 MOO5)	【選択必修】カリキュ ラムマネジメント	学校・地域の特色や教科横断的な視点などから教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組について、その目的や先進的な取り組みを基に理解を深める。さらに自己の課題意識から参加者同士議論を深め、自己実践、学校における具体的な取り組みに生かすことを目指す。	示形 潤子（総合教育研究センター 准教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月30日(火)	60人	・受講票 ・筆記用具 ・所属校の 教育課程	講義と演習	筆記試験	可	特になし

主な受講対象者			講習番号 (システム コード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の 持ち物 (事前購入 テキスト)	講習の 開講形態	試験の方 法	試験時 の持込	その他 (事前に知って おいてほしい事項、 参考テキスト等)
学校種	免許職 種、 教科等	職務経 験等													
小学校 中学校	特定し ない	特定し ない	2-F (1909 M006)	【選択必修】アクティ ブ・ラーニング	アクティブラーニングは、日本の小学校や 中学校等で意欲的に取り組まれてきた授業 実践の延長上にあります。アクティブラー ニングに関する最近の議論を紹介しつつ、 今までの授業研究による知見を踏まえ、 「主体的・対話的で、深い学び」を実現す るためには何が求められるかについて考え を深めていきます。	坂本 篤史（人間発達文化学類准教 授）	福島県福島市	6時間	2019年6月15日(土)	80人	・受講票 ・筆記用具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-G (1909 M007)	【選択必修】教育相談 (いじめ及び不登校へ の対応を含む)	学校現場の教育相談のありかたについて論 じる。前半は、不登校はもとより、発達障 害、非行、いじめなど事例を通して相談の 理論と実際、留意点を詳述する。特に、問 題行動との関連を中心に、保護者への対応 について事例に基づいて実践手法を学ぶ (生島)。後半は、相談面接の基礎、SC活 用を含めたチーム支援、いじめ・不登校へ の対応、効果的な別室登校支援等について 検討する(青木)。	生島 浩（人間発達文化学類教授） 青木 真理（総合教育研究センター 教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月27日(土)	200人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-H (1909 M008)	【選択必修】進路指導 及びキャリア教育	学校教育における進路指導を核としたキャ リア教育の意義とその役割について、職業 発達心理学の視点から検討する。進路選 択・キャリア発達の理論、キャリア教育に 関する研究動向、今日のキャリア教育の動 向などを取り上げる。学校教育における キャリア教育の具体的な展開については、 現場の諸課題との関連を踏まえながらそ の在り方を考えてみたい。	五十嵐 敦（総合教育研究センター 教授）	福島県郡山市	6時間	2019年8月8日(木)	150人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	可	特になし
小学校 中学校	特定し ない	特定し ない	2-I (1909 M009)	【選択必修】学び合う 道徳授業の探究	1. 「考え、議論する」道徳科への転換の 趣旨を解説する。2. インテグレーティ ブ・シンキングによる道徳授業のあり方 について解説する。3. 西川純氏が提唱す る『学び合い』の基本的な考え方について講 義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例 を参照して、課題設定、教師の立ち振る舞 い、評価等について講義するとともに、受 講者同士で学習指導案を作成し、議論す る。	松下 行則（人間発達文化学類教 授）	福島県福島市	6時間	2019年6月15日(土)	50人	・受講票 ・筆記用具	講義と実習	筆記試験	可	興味をもたれた方 はご覧ください。 参考図書： 西川純・松下行則 編著『アクティ ブ・ラーニングを 実現する！『学び 合い』道徳授業プ ラン』明治図書、 2016年 ※注：7/6開講 の「【選択】学び 合う道徳授業の探 究」と同一内容に なります
小学校	特定し ない	特定し ない	2-J (1909 M010)	【選択必修】小学校英 語セミナー	小学校における英語指導の在り方を理論と 実践の統合を目指して講義を行う。前半は 認知心理学の記憶の視点及び言語政策の在 り方を中心に講義を行う。後半は実際の授 業のDVDを見ながら実践上の創意工夫の在 り方を参加者と意見を交換しつつ理論の応 用上の工夫を考察していく。	佐久間 康之（人間発達文化学類教 授）	福島県福島市	6時間	2019年6月22日(土)	100人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	講習で 配布資 料のみ 可	特になし

主な受講対象者			講習番号 (システム コード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の 持ち物 (事前購入 テキスト)	講習の 開講形態	試験の方 法	試験時 の持込	その他 (事前におい てほしい事項、 参考テキスト等)
学校種	免許職 種、 教科等	職務経 験等													
幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定し ない	特定し ない	2-K (1909 MO11)	【選択必修】国際理解 と異文化理解教育	本セミナーでは「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」と「異文化交流と文学・芸術」を扱う。「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」では、異文化理解に関わる基本的な概念について講義を行い、その上で異文化理解教育に活用できるような異文化体験アクティビティの実践を行う。「異文化交流と文学・芸術」では、文学、芸術上で異文化交流がどのように表象されているかを考察し、実践に活かす方法を模索する。	高木 修一（人間発達文化学類准教授） 高橋 優（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月13日(土)	100人	・受講票 ・筆記用具	講義と演習	筆記試験	当日配布資料のみ可	特になし
小学校 中学校 高等学校	情報・ 技術・ 工業・ 数学・ 理科教 諭向け	特定し ない	2-L (1909 MO12)	【選択必修】情報科学 アップデート	情報科学・工学の分野で、比較的变化が早く、かつ中学校・高等学校における教育内容に関連した領域の知識をアップデートできる内容の講義をおこなう。テーマは、著作権など知的所有権の知識および個人情報やプライバシー問題の整理、情報メディア利用のあり方と社会生活の中での位置づけについて講義する。また情報ネットワークの基礎および最新の情報セキュリティの状況及び認証技術の基礎と応用について講義する。小中連携の観点から小学校教諭も対象とする。	神長 裕明（共生システム理工学類教授） 篠田 伸夫（共生システム理工学類教授） 中村 勝一（共生システム理工学類講師）	福島県福島市	6時間	2019年6月22日(土)	50人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	不可	特になし
幼稚園	幼稚園 教諭	特定し ない	2-M (1909 MO13)	【選択必修】幼稚園教 育要領改訂の動向等	子どもたちが家庭よりも園で過ごす時間が長くなり、家庭での教育力の重要性が叫ばれつつも、保育の果たす役割がこれまで以上に大きくなってきている。このような中で幼稚園教育要領は改訂されたが、何がか変わったのか、あるいは何を変えずにこれまでと同じように大事にしていけばよいのかを、本講義の中では考えていきたい。	大宮 勇雄（仙台大学 教授） 原野 明子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月23日(金)	200人	・受講票 ・筆記用具	講義	筆記試験	可	事前においてほしいこと： 幼稚園教育要領・ 保育所保育指針・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (システムコード)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
教諭	幼稚園教諭向け	3 (1909 S001)	【選択】幼児の表現を支える教材の考え方	現代の社会環境の変化により、乳幼児の心身の発達には危機にさらされている。そこで、その実態を踏まえつつ、さまざまな音楽教材や遊びを紹介しながら、教材研究の方法や、幼児の発達にふさわしい教材の展開などを考える。	白石 昌子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月27日(土)	40人	・受講票 ・筆記道具 ・実技の際に記録しやすいように用箋挟みなど	講義及び実技	筆記試験	不可	・動きやすい服装でおいください。 ※注：8/5開講の「【選択】幼児の表現を支える教材の考え方」と同一内容になります
教諭	幼稚園教諭向け	4 (1909 S002)	【選択】幼児の表現を支える教材の考え方	現代の社会環境の変化により、乳幼児の心身の発達には危機にさらされている。そこで、その実態を踏まえつつ、さまざまな音楽教材や遊びを紹介しながら、教材研究の方法や、幼児の発達にふさわしい教材の展開などを考える。	白石 昌子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月5日(月)	40人	・受講票 ・筆記道具 ・実技の際に記録しやすいように用箋挟みなど	講義及び実技	筆記試験	不可	・動きやすい服装でおいください。 ※注：7/27開講の「【選択】幼児の表現を支える教材の考え方」と同一内容になります
教諭	幼稚園教諭向け	5 (1909 S003)	【選択】幼児の発達を通して保育を考える	保育において気になる子を例にとりながら、子どもの遊びや行為を解釈し、子どもの経験の意味について考える。まずは、気になる子についての保育者側の要因について紹介し、気になる子が気にならなくなった過程についての先行研究の紹介を行う。次に、気になる子どもとしてよくあげられる子どもの特徴と対応の方法、考え方について紹介する。これらのことを通して、保育者の役割について考えたい。	原野 明子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月1日(木)	70人	・受講票 ・筆記道具	講義とグループワークなど	筆記試験	可	※注：10/19開講の「【選択】幼児の発達を通して保育を考える」と同一内容になります
教諭	幼稚園教諭向け	6 (1909 S004)	【選択】幼児の発達を通して保育を考える	保育において気になる子を例にとりながら、子どもの遊びや行為を解釈し、子どもの経験の意味について考える。まずは、気になる子についての保育者側の要因について紹介し、気になる子が気にならなくなった過程についての先行研究の紹介を行う。次に、気になる子どもとしてよくあげられる子どもの特徴と対応の方法、考え方について紹介する。これらのことを通して、保育者の役割について考えたい。	原野 明子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年10月19日(土)	70人	・受講票 ・筆記道具	講義とグループワークなど	筆記試験	可	※注：8/1開講の「【選択】幼児の発達を通して保育を考える」と同一内容になります
教諭	幼稚園教諭向け	7 (1909 S005)	【選択】協働型園内研修の理論と実践	本講習は、幼稚園などの職員が実施する研修である園内研修のうち、保育者ら一人一人の意見を引き出し、それを尊重しながら行う形式の園内研修である「協働型園内研修」をテーマとする。主な内容は、協働型園内研修の意義・適した問い、園内研修実施の難しさ対策、その体験（グループワーク）である。	保木井 啓史（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月6日(火)	100人	・受講票 ・筆記道具 ・サインペン、フェルトペンなど、太字が書けるもの	グループワークと講義	筆記試験	可	8/24 ※注：8/22開講の「【選択】協働型園内研修の理論と実践」と同一内容になります

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入アイテム)	講習の 開講形態	試験の 方法	試験時 の持込	その他 (事前に知ってお いてほしい)事項、
教諭	幼稚園教諭向け	8 (1909 S006)	【選択】協働型園内研修 の理論と実践	本講習は、幼稚園などの職員が実施する研修である園内研修のうち、保育者ら一人一人の意見を引き出し、それを尊重しながら行う形式の園内研修である「協働型園内研修」をテーマとする。主な内容は、協働型園内研修の意義・適した問い、園内研修実施の難しさと対策、その体験（グループワーク）である。	保木井 啓史（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	開講日が変更となりました(3/14) 2019年8月24日(土) 2019年8月22日(木)	100人	・受講票 ・筆記道具 ・サインペン、 フェルトペンなど、 太字が書けるもの	グループ ワークと講 義	筆記試験	可	※注：8/6開講 の「【選択】協働 型園内研修の理論 と実践」と同一内 容になります
教諭	幼稚園教諭向け	57 (1909 S007)	【選択】自然の魅力を学 びに活かす保育技術	今日の福島県の生活環境や保育環境に対して、北欧諸国の実践例を紹介しながら、幼児期の自然体験活動の意義・必要性について理解を深める。また、実際のアクティビティを体験して、自然の中の「子どもの気づきや学び」・「教材探求」・「安全管理」についての理解を深め、戸外遊びや園外保育で活かせる保育技術の向上を図る。	柴田 卓（郡山女子大学 短期大学部幼児教育学科講師）	福島県福島市	6時間	2019年10月20日(日)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・外で動ける服 装と靴、帽子、 雨具、必要に応 じて虫よけスフ レー等	講義・実 技・ワーク ショップ	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭向け	9 (1909 S008)	【選択】特別支援教育の 推進と充実をめざしてA	本講義では、学校や社会における障害受容と障害理解について学ぶことを目的とする。具体的には、知的障害や発達障害に関する特性（特に、感覚・知覚・認知）の理解、障害概念の定義、社会における障害観の形成と変容（偏見・差別の解消）、インクルーシブ教育の現状と課題について理解を深める。 ・ 具体的な技法の獲得ではなく、障害に対する理論的な考察を主として講義を進めるため留意してほしい。また、幼・小・中・高の先生向けにわかりやすいように特別支援教育の基礎的な内容を扱う。	高橋 純一（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月20日(火)	150人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭向け	10 (1909 S009)	【選択】特別支援教育の 推進と充実をめざしてB	養護学校義務制施行から今日までの特別支援教育の変遷を振り返りながら、知的障害教育及び病弱教育の実践事例から指導のあり方を学ぶ。また、就学前の気になる子どもたちや親を対象とした発達支援の実践から指導の手がかりを考えていく。	大関 彰久（人間発達文化研究科教職大学院特任教授） 片寄 一（福島県立大笹生支援学校 校長）	福島県福島市	6時間	2019年7月31日(水)	100人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭向け	11 (1909 S010)	【選択】特別支援教育の 推進と充実をめざしてC	発達障害や知的障害のある子ども達に対する支援を行っていくのに活用が期待されている応用行動分析の入門となる事項を学ぶ。また、発達障害や知的障害のある子ども達が示す「気になる行動」とその対応法について、応用行動分析の観点から演習形式で考えていく。	鶴巻 正子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月6日(火)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義・グ ループ討議	筆記試験	可	特になし

対象 職種	主な 受講対象者	講習番号 (7桁) (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講 人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の 開催形態	試験の 方法	試験時 の持込	その他 (事前に知ってお いてほしい)事項、
教諭	小学校教諭 中学校国語科教諭 向け	12 (1909 SO11)	【選択】国語教育セ ミナー(小・中学校教員向 け)	国語科における「主体的」「対話的」、 かつ「深い学び」とする授業の在り方を 具体的な教材を基に考えます。主とし て、文学的文章の読みを扱います。「楽 しい授業」「国語の力をつける授業」と はどうあるべきか、明日の授業で使える 理論と実践を紹介します。幼小連携の観 点から幼稚園教諭についても対象とす る。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	福島県郡山 市	6時間	2019年8月1日(木)	40人	・受講票 ・筆記道具	・講義、並 びにグルー プ討議 ・講師の模 擬授業	筆記試験	資料持 込可	参考テキスト： 佐藤佐敏著『国語 科授業を変えるア クティブ・リー ディング』明治図 書 ※注：8/20開 講の「【選択】」 国語教育セミナー (小・中学校教員 向け)と同一内容 になります
教諭	小学校教諭 中学校国語科教諭 向け	13 (1909 SO12)	【選択】国語教育セ ミナー(小・中学校教員向 け)	国語科における「主体的」「対話的」、 かつ「深い学び」とする授業の在り方を 具体的な教材を基に考えます。主とし て、文学的文章の読みを扱います。「楽 しい授業」「国語の力をつける授業」と はどうあるべきか、明日の授業で使える 理論と実践を紹介します。幼小連携の観 点から幼稚園教諭についても対象とす る。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	福島県福島 市	6時間	2019年8月20日(火)	40人	・受講票 ・筆記道具	・講義、並 びにグルー プ討議 ・講師の模 擬授業	筆記試験	資料持 込可	参考テキスト： 佐藤佐敏著『国語 科授業を変えるア クティブ・リー ディング』明治図 書 ※注：8/1開講 の「【選択】」国 語教育セミナー (小・中学校教員 向け)と同一内容 になります
教諭	小学校教諭 中学校国語科教諭 向け	14 (1909 SO13)	【選択】国語セミナー日 本語学	日本語方言研究の近年の研究成果と方言 教材の活用について紹介する。前半は東 北・福島方言の事例を中心に、近年の調 査データにもとづく方言研究の学術的、 理論的側面について半沢が概説し、本多 が高等学校での実践事例等を紹介する。 後半は小学校、中学校教科書の方言教材 等を適宜用いながら小林が実践的な内容 を扱う。興味があれば高等学校国語科教 諭も受講可。	半沢 康(人間発達文化学類教授)・ 本多 真史(奥羽大学 講師)・ 小林 初夫(浪江町立幾世橋小学校教 諭、福島市岡山小学校教諭)	福島県福島 市	6時間	2019年9月15日(日)	50人	・受講票 ・筆記道具	前半は講 義、 後半は講義 およびワー クショップ	筆記試験	可	参考テキスト： 『都道府県別全国 方言辞典』佐藤 亮一編 三省堂
教諭	高等学校国語科教 諭向け	15 (1909 SO14)	【選択】高等学校国語講 習	高等学校国語科教員を対象として、新 学習指導要領の趣旨を踏まえた主体的・ 対話的で深い学びによる授業改善の方 略について講義と演習による講習を実施 し、生徒の思考力・判断力・表現力の育 成に資する。 なお、演習においては、教科書教材を もとにした学習指導案作成と模擬授業を 行うとともに、グループによる協議を通 じて学校現場における実践的な指導力 の向上を目指す。	高橋 正人(人間発達文化学類特任教 授)	福島県福島 市	6時間	2019年8月8日(木)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・高等学校学習 指導要領(平成 30年告示)解説 国語編	講義、演習 及びグルー プによる模 擬授業実践 等	筆記試験	可	「高等学校学習指 導要領(平成30 年告示)解説 総 合的な探究の時間 編」を参照してく ださい。
教諭	中学校・高等学校 国語科教諭向け	62 (1909 SO15)	【選択】国語学セミナー 日本文学(近代文学)	本講習は、現代文における詩の教材の扱 われ方について受講者と一緒に考えてい くものである。教材研究において比較的 「苦手」とされ、また学習者にとっても 「わかりにくい」「読めない」と敬遠さ れてきた詩についてのアプローチの多様 性を講義形式で学び、授業の組み立てに 活用してもらいたい。文学史の中での詩 の多様性と変遷を確認し、詩の多様な方 法を知ることは、文学教材への多様なア プローチを学ぶ機会にもなるはずであ る。小学校教諭も可。	高橋 由貴(人間発達文化学類准教授)	福島県福島 市	6時間	2019年8月3日(土)	100人	・受講票 ・筆記道具	講義とグル ープ討議	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (Y/F/M)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入アイテム)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前を知っておいてほしい事項)
教諭	中学校・高等学校 英語科教員向け	16 (1909 S016)	【選択】英語研究セミナーA	本セミナーでは「英語理解における記憶の役割と評価」、「英語教育におけるテストの意義とその方法」について講義を行う。「英語理解における記憶の役割と評価」では、言語を理解する際にかかわる記憶の種類とその重要性及びテストにおける評価のあり方について理解を深めることを目指す。「英語教育におけるテストの意義とその方法」では、さまざまなテストの役割とテスト作成から実施後の処理について理解を深めることを目指す。	佐久間 康之（人間発達文化学類教授）・ 高木 修一（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月3日(土)	100人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	講習での配布資料のみ可	特になし
教諭	中学校・高等学校 英語科教諭向け	17 (1909 S017)	【選択】英語研究セミナーB	英語を中心とした言語研究の成果に基づいて、英語の語彙、意味、構造などに関する事項を取り上げる。言語に対する理解を深めること、コミュニケーション能力を向上させることという英語教育・外国語教育の視点をふまえながら、それぞれの事項に関する知識の習得を目的とする。	朝賀 俊彦（人間発達文化学類教授）・ 佐藤 元樹（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月1日(木)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・英和辞書（電子辞書でも可）	講義	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校 英語科教諭向け	18 (1909 S018)	【選択】英語研究セミナーC	近代から現代の英米文学および関連する研究について講述し、教師の専門的力量や教授能力の向上に資することを目標とします。英語研究セミナーA・Bと併せて受講することにより、三分野に関する専門的な知見が得られるだけでなく、授業実践についても有益な情報が得られることとなります。	川田 潤（人間発達文化学類教授）・ 高田 英和（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月2日(金)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義、グループ活動等	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭向け	19 (1909 S019)	【選択】小学校社会科セミナー	小学校で行う社会科教育について、指導法に関わる新たな知見を紹介するとともに、社会科に関する様々な内容について近年の研究の成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	初澤 敏生（人間発達文化学類教授）・ 鶴沼 秀雅（人間発達文化学類特任教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月27日(土)	100人	・受講票 ・筆記道具 ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編	講義・演習	筆記試験	可	・これまでに行ってきた社会科に関する実践を見直ししておくが良い。 ※注：8/2開講の「【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります
教諭	小学校教諭向け	20 (1909 S020)	【選択】小学校社会科セミナー	小学校で行う社会科教育について、指導法に関わる新たな知見を紹介するとともに、社会科に関する様々な内容について近年の研究の成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	初澤 敏生（人間発達文化学類教授）・ 鶴沼 秀雅（人間発達文化学類特任教授）	福島県郡山市	6時間	2019年8月2日(金)	100人	・受講票 ・筆記道具 ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編	講義・演習	筆記試験	可	・これまでに行ってきた社会科に関する実践を見直ししておくが良い。 ※注：7/27開講の「【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入アイテム)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っている事項、 いてほしい事項)
教諭	中学校社会科教諭向け	21 (1909 S021)	【選択】中学校社会科教材開発	中学校社会科(地理・歴史・公民)について、社会科としての指導法に関わる新たな知見を紹介するとともに、各分野について近年の研究の成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授)・ 小野原 雅夫(人間発達文化学類教授)・ 小松 賢司(人間発達文化学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年7月13日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	これまでに行った社会科の実践を見直しておくが良い。
教諭	高等学校公民科教諭向け	22 (1909 S022)	【選択】高校公民教材研究	この講座では、高等学校公民科の「現代社会」(2022年度より「公共」)、「倫理」について、それぞれの専門分野における研究を踏まえながら、それらを現場の授業においてどのように教材化していったらよいかを検討していきます。今年度は社会学、倫理学の研究者が教科専門の立場から講義を行い、それらの知見をどう実践に結びつけていったらいいのか考えてもらいます。	小野原 雅夫(人間発達文化学類教授)・ 牧田 実(人間発達文化学類教授)	福島県福島市	6時間	2019年7月15日(月)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義とワークショップ	筆記試験	可	特になし
教諭	高校地歴科教諭向け	23 (1909 S023)	【選択】高校地歴科教材開発	高等学校地歴科(日本史・世界史・地理)について、地歴科としての指導法に関わる新たな知見を紹介するとともに、各教科について近年の研究の成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授)・ 小松 賢司(人間発達文化学類准教授)・ 鎌和田 賢(人間発達文化学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年7月14日(日)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭 中学校・高等学校 数学科教諭向け	24 (1909 S024)	【選択】算数教育もう一歩先へ	今日、日々の算数の授業において、深い学びの実現に向けた数学的活動の充実を図り、子どもたちにおける数学的に考える資質・能力をより一層育むことが期待されている。数学的活動の改善と充実に向けて、子ども観、授業観、算数観を新たに振り返り、今後の教材や授業づくりの方向性について考える。小学校教諭はじめ、小中高連携の観点から中学校・高校教諭も対象とする。	森本 明(人間発達文化学類教授)・ 小倉 直子(千葉市立花園小学校教諭)・ 今野 真幸(南相馬市立小高小学校教諭)・ 淳子(会津若松市立一貫小学校校長)	福島県福島市	6時間	2019年8月5日(月)	180人	・受講票 ・筆記道具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭 中学校・高等学校 数学科教諭	25 (1909 S025)	【選択】思考力をはぐくむ算数・数学の授業づくり	全国学力・学習状況調査を生かした算数・数学の授業づくりが求められている。特に、調査問題の趣旨や問い方を生かした算数・数学の授業づくりの方向性について考える。小学校算数、中学校数学の講座を構成、展開する。	森本 明(人間発達文化学類教授)・ 菅 達徳(明治大学付属中野中・高等学校教諭)・ 宇陀 定司(茨城大学附属中学校教諭)・ 田中 祥子(未定 現在は福島西高)	福島県福島市	6時間	2019年11月23日(土)	180人	・受講票 ・筆記道具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校 数学教諭向け	26 (1909 S026)	【選択】幾何学とトポロジー	まず、自然界や人工物に見られる様々な図形を取り上げ、それらに潜む数理的性質について紹介する。次に、コンピュータソフトやプログラミングによって様々な図形を描く方法を紹介し、最後に、いくつかの実験を交えながら新しい幾何学「トポロジー」の考え方に触れる。(コンピュータやプログラミングの知識は仮定しない)	中田 文憲(人間発達文化学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年8月7日(水)	25人	・受講票 ・筆記道具 ・作成したファイルを持ち帰りたい方はUSBメモリ	講義、実習	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項)
教諭	小学校教諭 中学校・高等学校 数学科教諭向け	27 (1909 S027)	【選択】これからの算数・数学の授業づくりについて考える	新学習指導要領が告示され、数学的に考える資質・能力の育成を図る算数・数学の授業づくりが求められている。特に、数学的に問題発見・解決する過程が重要であり、その過程を遂行する数学的活動の充実について考える。	森本 明（人間発達文化学類教授） 泉 一也（秋田市立御野場中学校教諭） 宇陀 定司（茨城大学附属中学校教諭） 秋山 了（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年10月14日(月)	180人	・受講票 ・筆記道具	講義と演習	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校 数学科教諭向け	61 (1909 S028)	【選択】現代解析学入門	「複素関数論と定積分計算」や「フーリエ解析とゼータ関数」、「測度論と現代確率論」などの話題を通じて、高度な計算の方法や斬新な概念の捉え方について、高等学校までで学ぶ数学との相違や関連を意識しながら触れる。	和田 正樹（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月20日(火)	25人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭 中学校理科教諭向け	28 (1909 S029)	【選択】小学校理科セミナー	平成32年度からスタートする新学習指導要領では「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現することを求めています。本講習では、小学校理科における特徴的な見方・考え方に焦点を当て、「アクティブ・ラーニング」を実現するためのポイントを整理するとともに、必要となる教材・ICT活用の事例を検討する中で、教室で実現する方法を探っていきます。小中連携の観点から中学校理科教諭も対象とします。	水澤 玲子（人間発達文化学類准教授） 平中 宏典（人間発達文化学類准教授） 野崎 修司（人間発達文化学類特任教授） 村上 正義（人間発達文化学類特任教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月27日(土)	72人	・受講票 ・筆記道具	講義 グループ討 議 実習	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	29 (1909 S030)	【選択】再生可能エネルギーをいかに伝えるか	東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する注目度が上がっている。再生可能エネルギー発電を中心に、発電原理・実施例・導入推進施策・自治体のビジョン・近未来の課題などを解説する。再生可能エネルギーは教科の枠を越えて総合的に捉えることが重要であるため、担当教科は問わない。理科（エネルギーについて）や社会（地域の資源・新しい産業）など各教科で取り上げる場合や、総合学習や課外活動で取り上げる場合などで、参考にしていただきたい。	佐藤 理夫（共生システム理工学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月21日(水)	100人	・受講票 ・筆記道具	講義・グ ループ討 議	筆記試験	可	福島県再生可能エネルギー推進ビジョンおよびアクションプランをご覧ください。（福島県HP・エネルギー課よりダウンロードできます。）
教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30 (1909 S031)	【選択】人理解のための脳科学	神経生理学、心理学などの側面から、人の“脳と心”の理解を目的として、 ・生物が視覚や聴覚などの感覚系によってどのように世界をとらえているか。それらの活動の基になる神経細胞のふるまいを中心に概説する。 ・子どもや青少年の睡眠の特徴、睡眠覚醒パターン、異常な睡眠、生活習慣の改善と学業成績や精神衛生の関連について概説する。理科教諭以外も歓迎。	小山 純正（共生システム理工学類教授） 高原 円（共生システム理工学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月7日(水)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入アイテム)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っている事項、 いてほしい事項)
教諭 養護教諭 栄養教諭	中学校・高等学校 理科教諭 養護教諭 栄養教諭向け	31 (1909 S032)	【選択】放射線教育	放射線に関わる基礎事項を確認した上で、実習を行いながら自然放射線の存在や放射線に関わる単位、放射線防護3原則などの理解を深め、また現在福島県で積極的に取り組まれている放射線教育の実践事例を学ぶことを通して、それぞれの校種・教科でどのような放射線教育が可能かを考える。主な受講対象者を中学校・高等学校の理科教員としているが、放射線教育に関心の高い教員であれば校種・教科を問わない。養護教諭及び栄養教諭についても対象とする。	山口 克彦（共生システム理工学類教授）	福島県福島市	6時間	開講日が変更となりました(3/14) 2019年8月24日(土) 2019年8月23日(金)	20人	・受講票 ・筆記道具	講義 実習 グループ討議	筆記試験	可	文部科学省放射線副読本（平成30年10月改訂版）に目を通していただくが望ましい。なお、副読本は文部科学省のHPからpdfファイルがダウンロード可能（「文部科学省副読本」で検索すると出てきます）
教諭	中学校技術・理科教諭 高等学校校工業・情報教諭向け	32 (1909 S033)	【選択】電子回路設計の基礎及びシミュレーション実習	抵抗、インダクタンス、コンデンサの受動素子で構成された電気回路網の解析手法、及びダイオード、オペアンプなどの能動素子を加えた電子回路の動作とその特性について紹介する。過渡現象の解析手法として主にラプラス変換法について講述する。さらに、電子回路の動作及び特性理解のためのツールとして汎用電子回路シミュレータを紹介し、過渡解析や周波数解析等の使用法について実習を通じて習得させる。	岡沼 信一（共生システム理工学類教授） ・田中 明（共生システム理工学類教授） ・石原 正（共生システム理工学類非常勤講師）	福島県福島市	6時間	開講日が変更となりました(3/14) 2019年8月20日(火) 2019年8月22日(木)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・USBメモリー (容量：1GB程度以上)	講義及び実習	筆記試験 および実習成果物	可	特になし
教諭	小学校教諭向け	33 (1909 S034)	【選択】小学校音楽科教育の理論と実践	理論的には音楽科教育の歴史と思想・哲学、音楽科カリキュラム論、実践的にはボディ・パーカッションやサウンド・エデュケーション、即興等を扱う。また、日本との比較対象として北欧の音楽教育やコミュニティ音楽療法を取り上げることで、今後の小学校音楽科教育の在り方について総合的に考究することを目的とする。	杉田 政夫（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年11月17日(日)	40人	・受講票 ・筆記道具	講義、実技、グループワーク	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校 音楽科教諭向け	34 (1909 S035)	【選択】西洋音楽における編曲の歴史と実践	本講習では、編曲の歴史をたどりそれぞれの時代に施された意義について考察します。アレンジメント、トランスクリプション、リコンポジション等編曲の方法によって呼称が異なっていることを知り、編曲の方法を分析することで編曲についての理解が深まり教育現場での実践にも役立ちます。編曲の歴史や実際の考察したのち、簡単な編曲にも取り組みます。	横島 浩（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月27日(土)	30人	・受講票 ・筆記道具	講義、編曲の作業	筆記試験	可	編曲の作業には、よく知られた旋律を取り上げます。
教諭	中学校・高等学校 音楽科教諭向け	35 (1909 S036)	【選択】中高音楽科における声楽の実践と指導法	主に声楽の技術面に関する講習を行う。中・高の教科書に記載されている日・伊・独の歌曲を教材として用い、歌唱の技術面的見直しと弾き語り、講習の主たる内容である。時間が許す限り、教科書掲載の声楽作品を、映像、音源を用いながら、鑑賞の方法論の手引きも行う。	今尾 滋（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年6月22日(土)	20人	・受講票 ・筆記道具 ・課題曲の楽譜	実技レッスン	実技審査	可	課題は歌唱・伴奏・弾き歌いとし、5月中旬頃に別途発表する。基本的に弾き歌いは31年度の福島県教員採用試験の課題曲に準ずるものとする。

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (Y/F/M)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っている項目、 いてほしい事項)
教諭	中学校・高等学校音楽科教諭向け	36 (1909 S037)	【選択】鍵盤楽器の演奏法および伴奏法	音楽科においては、近代までの西洋音楽のみならず、多様な音楽をその背景と文化・歴史とのかかわりから理解することが求められている。 ・本講習では、講義や鍵盤楽器の演奏を通して、西洋音楽（特に鍵盤楽器）における演奏法や解釈を深める。そして伴奏法等を考える。 ・中学校・高等学校教科書で扱う合唱曲について、伴奏法を実践的に探究しますので、予め発表する課題曲の伴奏部分を準備したうえで参加してください。	中畑 淳（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月1日(木)	30人	・受講票 ・筆記道具 ・五線紙 ・課題曲の楽譜（ピアノ伴奏譜）	講義と実技	実技考查	可（楽譜を使用します）	予め発表する課題曲について、準備をした上で受講してください。課題曲については、6月中旬までに別途発表します。
教諭	小学校教諭	37 (1909 S038)	【選択】小学校における造形教育の意義と実践の展開	学習指導要領（図画工作科）の内容を確認しながら、造形的な見方考え方を触発する材料との対話を通して表現の工夫が出来る題材・授業づくりを検討していく。前半では小～高校までの学齢に対応し、集団制作にも発展し得るカラータイプの教材研究を通し、受講者の新たなデザイン性の習得を目指す。後半では小学校における彫刻的表現にかかわる内容を、学習指導要領を確認しつつ教材開発し、演習を織り交ぜながら理解をさらに深める。小学校教諭を中心に近接職種が望ましい。	片野 一（人間発達文化学類特任教授） 新井 浩（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月6日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・エプロンや前掛け ・ハンドタオル	講義と演習	講習内での成果物提出と筆記試験の双方で行う	可（午前は講習内での取り組みと成果物で評価）	特になし
教諭	小学校教諭 中学校・高等学校美術教諭、	38 (1909 S039)	【選択】絵画（映像メディア含）、現代美術の実践と指導法	ARTの原義をもとに、M・I・Tのキーワードから「絵・画」の意義を探ります。現在、日本の美術教育では、「描くこと」とは何か、「見ること」「描くこと」自体への問いかけが少なくなっているように思われます。本講義では、アメリカ、イギリス、フランスと日本との「美術」に関する考え方の相違を通して、国際的な視野から、日本の美術教育の未来を展望していきます。なお「絵画表現」の観点から、小学校教員も対象となります。	渡邊 晃一（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月20日(土)	30人	・受講票 ・筆記道具	講義・ワークショップ	筆記試験	可	参考テキスト：「絵画の教科書」（日本文教出版社）
教諭	中学校美術教諭	39 (1909 S040)	【選択】美術科の造形的な表現活動を通じた指導と評価のあり方-立体造形について-	学習指導要領（美術科）の内容を確認しながら、造形的な見方考え方を触発する材料との対話と題材の検討を通して表現の工夫が出来る題材づくり、授業づくりを検討していく。具体的には中学校高等学校における彫刻的表現にかかわる内容を、学習指導要領を確認しつつ教材開発し、演習を織り交ぜながら理解をさらに深める。中学校美術教諭を中心に近接職種が望ましい。	新井 浩（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年6月22日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・エプロンや前掛け ・ハンドタオル	講義と演習	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校美術教諭向け	40 (1909 S041)	【選択】鑑賞学習の目的と指導方法、評価のあり方について	今日の中学校および高等学校における美術教育のなかでも、「鑑賞」の役割を理解すると同時に、授業づくりの実践を学ぶ。 ・また、学年に応じた「鑑賞」の目的と指導内容、評価のあり方に関する専門的知識の習熟を図る。	加藤 奈保子（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年9月7日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入デキモノ)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項)
教諭	小学校教諭向け	41 (1909S042)	【選択】小学校体育の最新理論と実際	小学校における体育科の役割に対する深い理解を促すとともに、体育の授業づくりに役立てることができる最新の体育科教育に関する理論と実践の紹介及び解説を行う。それらの知見をもとに、これまでの受講者自身の授業実践の振り返りを行い、今後の授業改善の課題の明確化を図る。	菅家 礼子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月7日(水)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・小学校学習指導要領(平成29年7月告示)解説体育編、(東洋館出版、定価162円+税)	講義、グループ討議	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校保健体育科教員向け	42 (1909S043)	【選択】中高体育教員向け体育科教育の理論と実践1	体育科教育に関わる最近の知見について講義する。H31年度の講義では、コーチング理論、スポーツ医学について扱う。担当者の専門分野からの視点を中心にして、体育科教育の実践に関わる最新の知見を解説・指導する。小学校教諭も可。	川本 和久（人間発達文化学類教授）・ 杉浦 弘一（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月8日(木)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	※注：講習開始時間は、9：00からです。 (受付：8：30～)
教諭	中学校・高等学校保健体育科教員向け	43 (1909S044)	【選択】中高体育教員向け体育科教育の理論と実践2	体育科教育に関わる最新の知見を、理論と実技の両面から総合的に検討する。本講義では、ネット型「ハレーボール」およびスポーツ社会学を実施する。担当者の専門分野からの視点を中心にして、体育科教育の実践に関わる最新の知見を解説・指導する。小学校教諭も可。	小川 達彦（人間発達文化学類教授）・ 蓮沼 哲哉（人間発達文化学類講師）	福島県福島市	6時間	2019年8月9日(金)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・体育館用シューズ ・運動着	実技と講義	筆記試験	可	※注：講習開始時間は、9：00からです。 (受付：8：30～)
教諭	小学校教諭向け	44 (1909S045)	【選択】小学校家庭科セミナー	本講習では、新学習指導要領における小学校家庭科の主な改訂内容及びそれに関わる授業実践例を実践を通して学ぶ。また、学習内容にかかわる被服製作の実習を行うとともに、食物の「調理の基礎」に関する事項について、講義や試食を通して学ぶ。	浜島 京子（人間発達文化学類特任教授）・ 桂子（人間発達文化学類教授）・ 千葉 恵子（人間発達文化学類教授） 中村 尚子（福島市立第2小学校教諭）	福島県福島市	6時間	2019年9月14日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・裁縫道具（縫い針、まち針、ピンクッション、糸切りはさみは必須） ・30cm位のものさし	講義と演習、実習、簡単な実験を組み合わせて行う	筆記試験	可	特になし
教諭	中学校・高等学校家庭科教員向け	45 (1909S046)	【選択】中学校・高校家庭科セミナー：生活経営と家庭科の学習指導	この講習は、生活経営学の教科専門の知識を深め、家庭科の学習指導における教育実践力を高めることを目的としています。家庭科の学びの対象である生活とそとの経営について、生活の枠組や生活経営の範囲など生活の総合性に対する理解、生活の中から問題を見つけたり多角的に生活課題を捉えるための方法など、理論的根拠を踏まえつつ、事例に基づきながら受講者が主体的に取り組む簡単な演習も含めて、講習を展開していきます。	角間 陽子（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月1日(木)	30人	・受講票 ・筆記道具 ・生活や地域、社会の問題が取り上げられている新聞等の記事を1件	講義（簡単な演習を含む）	筆記試験	講習での配布資料のみ可	特になし
教諭 栄養教諭	中学校・高等学校家庭科教員向け 栄養教諭向け	46 (1909S047)	【選択】中学校・高校家庭科セミナー：食物学	この講習は、中学校・高校家庭科の食物分野における「食品学及び栄養学」の教科専門に関する知識を深めることを目的として、食品成分の特徴やその機能性、栄養的特質、日本人の食事摂取基準などについて、講義と簡単な実験を行います。	千葉 養伍（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年9月7日(土)	20人	・受講票 ・筆記道具	講義及び実験	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の 開講形態	試験の 方法	試験時 の持込	その他 (事前に知ってお いてほしい事項)
教諭	中学校・高等学校 家庭科教諭向け	47 (1909 S048)	【選択】中学校・高校家 庭科セミナー：住居	本講習は、住居学の教科専門に関する知識を深めることを目的としており、以下の4つの内容を含んでいます。①人間と住まい（自立の拠点としての住まい）、②住まい方から居住者を理解する方法（見取り図の描き方）、③住まいと健康（室内環境アレルギーや住宅内事故）、④高齢者の住宅改修。 なお講習の進め方として、一方的な座学にとどまらず、KJ法による意見交換、手を動かす演習も加える予定です。	鈴木 晃（人間発達文化学類特任教授）	福島県福島市	6時間	2019年9月21日(土)	30人	・受講票 ・筆記道具	座学が中心であるが、以下も行う。 ①KJ法を用いたグループワーク、 ②住宅見取り図を描く方法を理解するために描き方マニュアルを参照して、机上でそれぞれが描いてみる	筆記試験	可	特になし
教諭	小学校教諭 中学校教諭向け	48 (1909 S049)	【選択】学び合う道徳授 業の探究	1. 「考え、議論する」道徳科への転換の趣旨を解説する。2. インテグレイティブ・シンキングによる道徳授業のあり方について解説する。3. 西川純氏が提唱する『学び合い』の基本的な考え方について講義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例を参照して、課題設定、教師の立ち振る舞い、評価等について講義するとともに、受講者同士で学習指導案を作成し、議論する。	松下 行則（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月6日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義と実習	筆記試験	可	興味をもたれた方はご覧ください。 参考図書： 西川純・松下行則編著『アクティブ・ラーニングを実現する！『学び合い』道徳授業プラン』明治図書、2016年 ※注：6/15開講の「【選択必修】学び合う道徳授業の探究」と同一内容になります
教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 向け	49 (1909 S050)	【選択】事実に基づく授 業研究と授業改革	授業を変えるために学校現場でできることは何かを、受講者の皆様と共に考えていきます。その際、これから求められる授業のあり方と授業研究の手法について近年の動向や研究知見、初等教育や中等教育における授業改革の実践事例を紹介いたします。授業経験の省察を通じていかに授業を改善していくか、いかにして教師として学ぶかについて具体的に考えます。	坂本 篤史（人間発達文化学類准教授）	福島県福島市	6時間	開講日が変更となりました(3/14) 2019年8月19日(月) 2019年8月22日(木)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義・グループ討議	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50 (1909 S051)	【選択】臨床心理学ー発 達障害とパーソナリティ 障害ー	近年、発達障害やパーソナリティ障害への関心が教育現場で高まりつつあり、アスペルガー症候群やADHDなどの診断概念が知られるようになった。本講義では、(1)自閉症スペクトラム、ADHD、LDを中心に発達障害の概念、特性について概説し、学校における教育的指導の実践について事例を示す。(渡辺)。(2)パーソナリティ障害の概説および病理の理解の仕方を概説し、生徒や保護者との関わり方を学ぶ。(岸)	渡辺 隆（人間発達文化学類教授）・ 岸 竜馬（総合教育研究センター准教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月15日(月)	150人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	なし
教諭	中学校社会科教諭 高等学校地理歴史 教諭向け	51 (1909 S052)	【選択】地域の歴史・文 化遺産の活用と学校・教 育	教員と学校は長らく郷土史研究の担い手・人材育成の場であった。近年の学校は、教員が意欲的に研究に取り組む場ではなくなっていると伝え聞か、地域の歴史を支える人材育成の場、知の拠点としての意義は何ら薄れるものではない。講義では東日本大震災後に大学と地域が協力して推進してきた歴史資料保全活動で培われた地域の歴史理解を深める実践的方法論を提示する。地域を素材とする教材研究の一助となれば幸いです。	阿部 浩一（行政政策学類教授）	福島県福島市	6時間	開講日が変更となりました(3/14) 2019年8月19日(月) 2019年8月23日(金)	30人	・受講票 ・筆記道具	講義（一部に実習も含む）	筆記試験	可	購入の必要はありませんが、関心があれば読んでみてほしい参考図書： 阿部浩一・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編『ふくしま再生と歴史・文化遺産』（山川出版社、2013年） 大門正克ほか編『『生存』の歴史と復興の現在』（大月書店、2019年）

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (7桁)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項)
教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭向け	52 (1909 S053)	【選択】学校における消費者教育：事例紹介と課題の提示	ここ数年、学校教育においては「消費者教育」の重要性が語られているほか、平成30年の成人年齢引き下げ決定に伴い、若者への消費者教育の推進が求められている。そこで本講習では、昨今若年層で問題とされている事例をいくつか紹介し、合わせて「消費者市民社会」の考え方を示すこととする。そうした内容から各受講者が果たしうる消費者教育を考えてもらい、自らが克服すべき課題へ気づききっかけを提供したい。	中里 真 (行政政策学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年7月6日(土)	50人	・受講票 ・筆記道具 ・新聞記事 (・レジュメ配布予定のため、必須の持参資料は特にない。)	講義	筆記試験	可(講習で配布した資料、自分のノート)	・講習中に、受講者の意見を求める場合があります。事前に、新聞記事中などから気になるものがあれば切り抜きやコピー、メモなどを持参ください。 ・購入までは必要ありませんが、国民生活センター編『くらしの豆知識2019年版』(514円)を参考資料として挙げさせていただきます。 ・六法をお持ちの方は手元にあると便利です。
教諭	高等学校商業科教諭・公民科教諭向け	53 (1909 S054)	【選択】経済学と経済教育実践	「政治経済」・「現代社会」・商業科「ビジネス経済」には経済学の入門的な内容が含まれている。しかしながら、経済学は抽象的な議論が多く、大学などで「経済学」を深く学んでいない高等学校教員に経済教育のノウハウが十分形成されているとはいいがたい。そこで、大学における経済教育の実践例を紹介するとともに経済理論の背景や経済政策や企業戦略への応用例を講義し、経済教育に関する相互理解を深めることを目標とする。高等学校「政治経済」「現代社会」を教える教諭であれば、高等学校商業科教諭、公民科教諭以外でも受講可。	佐藤 英司 (経済経営学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年11月17日(日)	20人	・受講票 ・筆記道具	講義	筆記試験	可	特になし
教諭	高等学校商業科教諭向け	54 (1909 S055)	【選択】今後望まれる大学・高校教育—会計学・経営学とレポート・論文の書き方を中心として—	この講習では、特に経営・経済学部の代表的基礎科目である会計学や経営学を前半部で学び、後半部では昨今の大学教育だけでなく、変わりうる高校教育を考慮し、基本的なレポートや論文の書き方についても学習する。時流の変化が激しい昨今の情勢をふまえると従来のインプット型の教育だけでは限界がある。こうした潮流をふまえ、後半部では今後高校教育においても自ら生徒に考えさせることの重要性についても説く。	根建 晶寛 (経済経営学類准教授)	福島県福島市	6時間	2019年10月6日(日)	30人	・受講票 ・筆記道具 ・電卓 ・持参テキスト 河野 哲也 (著)「レポート・論文の書き方入門 第4版」慶応義塾大学出版会 1,080円 (←アマゾン記載)	講義、ワークシヨップ、グループ討議	筆記試験	不可	参考テキスト： 伊藤邦雄 (著)「新現代会計入門 第3版」日本経済新聞出版社、3,780円 (←アマゾン記載)
教諭 養護教諭	教諭 養護教諭	56 (1909 S056)	【選択】健康相談活動(理論)	子どもの心身の健康に関して行う健康相談について、健康相談活動の概念と特質を理解し、健康相談活動をすすめるための理論と技法を習得する。特に、健康相談活動に関する基礎的な知識を得ること、健康相談活動の対象となる健康課題について理解することを目指す。	鈴木 ひろ子 (人間発達文化学類特任教 授)	福島県福島市	6時間	2019年8月2日(金)	20人	・受講票 ・筆記道具	講義、グループワーク	筆記試験	可	特になし

対象職種	主な受講対象者	講習番号 (Y/F/M 年)	講習の名称	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	講習の期間	受講人数	当日の持ち物 (事前購入テキスト)	講習の開講形態	試験の方法	試験時の持込	その他 (事前に知っておいてほしい事項)
教諭 養護教諭	教諭 養護教諭	55 (1909 S057)	【選択】健康相談活動 (実践)	子どもの健康問題の複雑化・多様化への対応について、具体的な事例を基に、その背景、対応のプロセスなどについて考察し、校内組織による実態把握、また家庭や地域、関係機関との連携について考える。中心テーマは、一般教諭による子どもの健康状態の把握法、養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした、健康相談活動について、構造的な理解と知識技術を身に付け、子どもの心の問題に気づく相談活動の実践力を高めることに目標をおく。	鈴木 ひろ子（人間発達文化学類特任教授）	福島県福島市	6時間	2019年8月7日(水)	20人	・受講票 ・筆記道具	講義、グループワーク	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭 栄養教諭	学校で防災教育に携わる教員向け	58 (1909 S058)	【選択】防災教育	学校で行う防災教育について、指導法に関わる新たな知見を紹介するとともに、防災に関する様々な分野について近年の研究の成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	初澤 敏生（人間発達文化学類教授）	福島県福島市	6時間	2019年7月28日(日)	100人	・受講票 ・筆記道具	講義・演習	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校 中学校 高等学校教諭 養護教諭 栄養教諭向け	59 (1909 S059)	【選択】学校の中のジェンダーを考える	学校は表面的には男女の平等を保障しているように見えますが、性差別を再生産するような事例も多くなっています。 1. 隠れたカリキュラム、2. ジェンダーへの気づき、3. 地域における男女共同参画推進拠点、4. テートDV、LGBTを考える、等をテーマに学校の中のジェンダー問題について考えます。教育におけるジェンダー問題への気付きと生徒へのジェンダー教育の必要性について理解を深めることをめざします。	千葉 悦子（放送大学福島学習センター所長・特任教授）	福島県二本松市	6時間	2019年7月13日(土)	70人	・受講票 ・筆記道具	講義・グループ討議・ワーク ショップ	筆記試験	可	特になし
教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校 中学校 高等学校教諭 養護教諭 栄養教諭向け	60 (1909 S060)	【選択】学校現場から考える多様な性と性的マイノリティ	ある県では約10%の生徒が性的マイノリティであるという調査結果が公表されました。 ・LGBTなど性的マイノリティの子どもたちは、どの学校、どのクラスにもいる存在です。 ・しかし偏見や差別を恐れ、周りに相談できず悩みを一人抱えている当事者もたくさんいます。 ・多様な性についての理解を深め、「誰もが過ごしやすい学校」をつくるために必要なことは何か。 ・皆さんとともに考えていきたいと思います。	前川 直哉（総合教育研究センター特任准教授）	福島県福島市	6時間	2019年10月6日(日)	50人	・受講票 ・筆記道具	講義とワーク ショップ	筆記試験	不可	【参考テキスト】 石田仁『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで』（ナツメ社、2019年） ※必須ではありませんが、初学者向けの参考テキストとして強く薦めます。